

ガルパン劇場版

# 知波単学園

西絹代本

成人向



啊  
喊

西  
絹  
代





「前戦車道隊長の逆襲」  
五頁～二十二頁

「知波単モブコラム」  
二十三頁～三十四頁

「調教される戦車道隊長」  
二十五頁～二十八頁

【辻つっじ】  
知波単学園戦車道・前隊長  
全国大会での惨敗を期に世代交代

これは一体  
なんの冗談  
なのですか？

辻つっじ  
前隊長殿

わかりませんか？  
貴女はやり過ぎ  
たのですよ  
西絹代

我が校の伝統を  
蔑ろにし  
戦果だけを誇り

後輩の信頼を  
集めようなど  
もつてのほかか！



思春期に  
入ったばかりの弟だ  
女体に興味津々  
姉の着替えも  
覗こうとするくらいだ

そんな健康的な  
男子に視姦され  
恥じるが良い

弟くん  
少し…  
近すぎるぞ？

咄ッ…

姉様が  
後ろから  
突いてて…

そして  
その様子は  
隠しカメラで  
しっかりと  
撮らせて  
もらおうぞ！



ああ…  
ちよつと！

ダメだ！  
そんなに近づいて  
見るのは…

くわっ…

そんな近くで  
見つめていたら  
男子なら…

ドキドキ

＃

ああ！  
やはり  
そうやって  
じまうんだなっ

ヒッ  
ヒッ

じれったい  
全部  
見せなさい！

あ  
あ  
あ

ここが女のオマ○コ  
男のチ○ポを  
啜え込む  
はしたない場所だ

ダメっ！  
見ないで



フフフッ…  
貴女  
弟に見られて  
興奮してるわね

ペニスの  
勃起を見て  
欲情した  
ようね…

違っ…

もど…

もど…

わかるぞ？  
乳首も陰核も  
硬くしこつて  
興奮してるのが

そんなこと  
ない！  
ありません

濡れてきたな  
いいのだぞ？  
弟の童貞チ○ポ  
欲しいんだろ？

違いますっ  
そんなこと

あ…

あ…

あ…

あぁ...

ああ...

あぁ!!

辻前隊長の前でも  
弟君のペニスを  
愛おしいと  
感じてしまった...

最後まで許してしまったら!

あぁ!!

あぁ...

でももし、このまま  
この子に求められたら...  
見るだけでなく  
もつと女を感じたいと  
言われたら...  
拒絶出来るの?

拒めなくて  
愛撫されて興奮して  
勃起したペニスを  
見せ付けられたら...

あぁ...



# 天誅



保健室に  
お連れしろ!

落ち着け  
落ち着け...

取り押さえろー!

やめろ!  
なにをする



仕方ない...

いいのだぞ  
男の子  
なのだから

ごめん  
なさい!

い...!!

本当に  
ごめんなさい

勃起が  
収まらなくても  
仕方ないな

でも…  
姉に欲情  
するのは  
感心しないな

だから…

いくら  
思春期でも  
相手を  
選ばないと  
な

いいのだぞ？  
少しなら  
触っても

えっ？

自分で勃起を  
収める方法…  
知っているだろ？

なら  
それまでの間  
特別に、だ

はい  
はい

そうだな  
特別に許そう  
前隊長の  
弟君なのだから

少しの間だ……  
すぐに出して  
くれるだろう

それに年下の男の子に  
本気になんて……

年上の私が  
本気で感じて  
しまっただなんて！

めめ



あめ…

だから  
こんなにも  
出してても  
射精してても

オチン○ンが  
元気なら…  
まだ私を求めて  
くれているのなら…

ビクッ  
ビクッ

はあ  
はあ

ここも感じさせてあげたい！  
男の子が  
一番感じたい女の場所！

ここも感じて  
いっぱい射精して欲しい！



オマのヨの奥まで  
感じて！





あー！  
あー！  
あー！  
そうよ！  
もつと奥まで！

奥まで感じて！  
感じさせて！

気持ちいいの！  
わかるでしよ？

淫らに感じてるわ！  
君のオチンポで

だから好きな時に  
出していいのよ？  
好きな場所に  
出してちょうだい！

ああっ！  
いいの！  
このまま！

このまま来て！  
このまま中に！  
このまま出して！







これで  
姉上の着替えを  
覗くことは  
もうないな？

は、はい

返事が小さいぞ  
まだ自分を御する  
自信がないのか？



だったら  
もつと男を  
磨けばいい...

あつ  
はい...

なんだ？  
もう我慢  
出来なく  
なつたのか？



仕方がないな...  
特別だぞ？

数時間後

おのれ相沢め...

だが！  
西絹代の醜態は  
このカメラに...

あつ

【終】

あっ...ん ♡

モブも魅力的だと  
噂の知波単学園S。

特に玉田は  
男勝りな突撃厨に見えても  
胸も大きく実は乙女なのかも  
知れないという妄想が

捲りまくりなのです。



名無しの娘ですら  
一言だけでも台詞を聞けば  
イメージが湧く個性。

西隊長車で  
機敏な起動を  
披露した  
乗員たちも、  
いつかまた  
画面の  
隅っこでも  
微笑んで  
いてくれたら  
最高でしょうね。



# 【官能小説】調教される戦車道隊長

「君たち卑怯だぞ！恥を知りなさい」

知波単学園の戦車道隊長西絹代は

身体を押し付けてくる二人の男子に言葉で抗う。

しかし彼らは意に介さないばかりか

彼女の豊満な乳房に群がってきた。

西絹代が卑劣な行為に屈しているのには  
訳があった。

隊員の父親が労咳で倒れ

高額な治療費が必要になったのだ。

奔放な思春期の息子たちに手を焼いていた

病院の理事長は治療費と引き換えに

隊員の身体を要求してくる。

西隊長は身代わりにこの屈辱に耐えていたのだった。

「お姉さんの乳房、凄く大きいよ」

「柔らかくて張りがあって最高だ」

二人は思い思いに彼女の乳房に

取り付くと手で豊かな膨らみを揉みしだき、

柔肌に巻き付いたサランを解くと

舌できめ細やかな肌を舐め回した。

「そんなに辱めたいのなら勝手にすればいい……」

特別な感情を抱かない相手からの辱めにも

彼女は気丈に振る舞った。

伝統ある学校の戦車道隊長として

こんな場面でも誇りを失いたくなかったのだ。

「くっ……！」

しかし彼らの手付きは女を知らない

童貞のものではなかった。

相手の表情を覗いながら

巧みに愛撫に強弱を付け興奮を煽っていく。

父親の地位を利用して幾人もの看護婦を

陵辱してきた経験をぶつけてくる。

「んっ……。ああっ！」



「いい反応だね。今度は僕らを興奮させてよ」

ひとしきり愛撫し乳房を唾液でべとべとにした相手に彼らは更なる屈辱を与えてくる。

「そうだよ。歯を立てずに啜えるんだ」

「んんっ。んんんっ！」

汗臭い男根を押し付けられても彼女に拒否権はない。

普段なら耐えられない異臭を堪えながら求められた口腔奉仕に応じなければならぬ。

「もつと美味しそうに啜えてよ」

「僕のも触つて。お姉さんの手でしごくんのだ」

硬く勃起した二本の男根が口に手に押し付けられる。

要求通りに西絹代が舌と指を動かし始めると二人は歓喜して声を上ずらせた。

「あの伝統校の隊長さんが僕の陰茎を美味しそうに啜えているよ！」

「戦車を操るだけでなく男の操り方も上手いんだね！」

礼節ある淑やかで慎ましく凛々しい婦女子を目指して日々鍛錬してきた彼女に、  
彼らは言葉によつても辱めを与えてきた。

性的な興奮を示し始めた戦車道隊長に侮蔑の言葉を浴びせる。

「いいよ。気持ちいい！そんなに陰茎が欲しいのかい？」

「言わなくても分かるよ。隊長さんの身体が疼いているのが分かるよ」

「んっ……。んっ……。んっ！」

言葉の暴力に耐えながらも西絹代は白い素肌を赤く上気させながら奉仕を続ける。  
彼らの言う通り女である身体が熱く淫らに火照るのを感じながら。

「ああうっ！」

しかし堪え切れず戦車道隊長の口から喘ぎ声がこぼれ出る。身体の内を貫く熱い刺激に耐えられなかつたのだ。

「いい声だよお姉さん！チ○ポにピンピン来る！」

「じゃあ僕は下をもらうよ。いいよねっ」

これまでの愛撫で陰部は恥ずべき蜜をたたえていた。

男根に貫かれ溢れ出した蜜が肛門をも濡らし

もう一つの男根をも受け入れてしまう。

「ううっ！はあああっ！」

全身を震わせ乳房を弾ませて西絹代は

二人からの男根の抽送に応えてしまう。

隊長としての誇りは性愛の興奮に覆われて

女である本来の姿を曝け出し淫らに喘いだ。

「いいよ！最高のオマ○コだよ！」

「これから毎日楽しもうよ！僕たちと！」

「ああっ！ああっ！ダメっ…ああーっ！」

女を知る男根の責めに愛らしくも淫靡に身悶えて

西絹代は性愛を受け止め続ける。

二人が射精するまでもなく意識を白く飛ばし

絶頂の快楽を何度も経験させられていった。

「でも流石だね。まだ堕ちないや」  
「イキながら僕たちを睨んでるね」  
二度の射精で何度も絶頂に昇り詰めていた  
西絹代だったが最後の理性だけは残っていた。  
二人の前で激しい快樂に抗ってみせたのだ。

「でも、どれだけ続くかな？」

「ああっ、ああーんっ！」

肥大した陰核をいじられて身悶える。

「まだまだこれからだよ？」

「あっ、あっ、ああん！イヤあん！」

乳首を吸われ愛液を滴らせる。

このまま快樂に堕ちたい願望と

戦車道隊長としての誇りを

失いたくない希望を交互に思い描きながら

西絹代の長い夜が続いていく。【完】





福田...  
いいのだわ...  
西隊長...

ああ!  
福田...  
北は...  
北は弱いのだ!

ああ  
そんなものまで  
おかしくなつてしまふ...  
絹代さん...

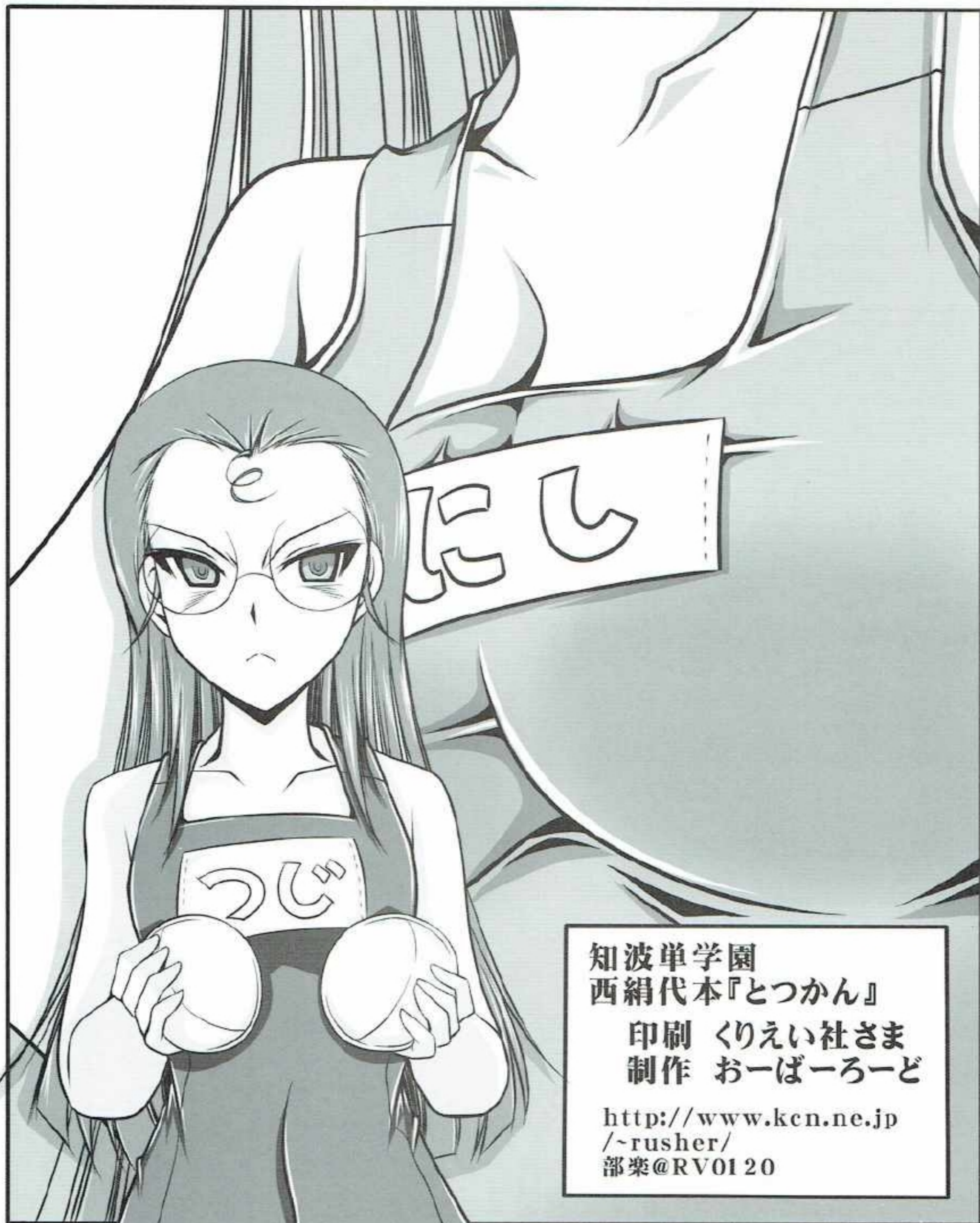
福田先生の次回作に  
ご期待ください!



## あとがき

お疲れ様でした。『とつかん』これにて終了です。  
一見クールビューティーに見える西隊長もいい具合にネジが外れた  
愛すべきキャラクターに描かれていてとても満足の劇場版でした。  
隊員に対しては父性のように母性で。  
変革を望みながらも身についた精神主義も大好きな  
いい意味で隙の大きい、胸も大きな魅力に溢れていました。  
そんな彼女には「おねショタ」がお似合いだろうと思い  
描いたのが本作です。  
福田作の百合話内でもきっと押し切られて受けに回りそうですね。  
総突撃を総受けする西隊長もいつか描いてみたいものです。  
また、劇場版では未登場の辻さんも何かの作品に登場して  
隠れポンコツ要素を発揮してくれると二次創作が捗りますよ。

ラッシャーヴェラク



知波単学園  
西絹代本『とつかん』  
印刷 くりえい社さま  
制作 おーばーろーど

<http://www.ken.ne.jp/~rusher/>  
部楽@RV0120

